

2024年10月25日

各位

上場会社名 東京製鐵株式会社
代表者 代表取締役社長 奈良 暢明
(コード番号 5423 東証プライム市場)
問合せ先責任者 執行役員経営管理本部長
津田 聡一郎
(TEL 03-3501-7721)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり2024年7月26日に公表した2025年3月期通期個別業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期個別業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	364,000	32,000	33,000	22,000	202.59
今回修正予想(B)	308,000	24,000	25,000	16,500	153.65
増減額(B-A)	△56,000	△8,000	△8,000	△5,500	—
増減率(%)	△15.4	△25.0	△24.2	△25.0	—
ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	367,242	38,066	39,719	27,958	253.51

修正の理由

当7-9月期におきましては、海外市況の低迷を受けて輸出数量が減少したことに加えて、台風の影響もあり、製品出荷数量が当4-6月期比で約15%減少しました。また、中間期末に製品・原料などで約16億円の評価損などが発生したことから、当中間会計期間における業績は計画を下回ることとなりました。

今後の見通しにつきましては、中国からの鋼材輸出が国際市況に与える影響や、国内における建築案件の工期遅れなど、鋼材需要の伸び悩みが懸念されます。このような情勢のなか、当社におきましても9月17日に公表した10月契約において建値値下げの実施を余儀なくされたことに加え、販売数量の減少やそれに伴う生産コストの上昇など経営環境は予断を許さない情勢が続きますが、採算重視の方針のもと、需要に見合った生産による徹底したコスト低減を継続してまいります。また、7月に販売を開始したグリーン鋼材「ほぼゼロ」や、8月に田原工場で生産を再開した酸洗コイルなど、多分野で広がる電炉鋼材ニーズにお応えするための製品ラインナップ拡充に努め、取引先の多様化を推進することで、利益の積み上げに努めてまいります。以上のような次第から2024年7月26日公表の通期業績予想について修正いたします。

以上